₩ JR九州労組ニュース

No.12 2023年



9月5日 九州旅客鉄道労働組合 発行責任者 吉田祥司

議員フォーラム所属議員秘書と JR産業の課題を共有

9月1日、東京都内において、JR連合は「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する国会議員の秘書を対象とした勉強会を開催した。九州から選出された国会議員の秘書も多く参加し、JR九州労組からは、吉田春菜政策部長が出席した。

勉強会の前半には、JR連合からJR産業全体に共通する課題として石川敏也産業政策局長が「持続可能な地域公共交通をつくるために」「高速鉄道・新幹線ネットワークの構築と計画推進」「JR各社の離職・人財不足の課題」等についての説明を行った。後半は、国会議員の選出エリアごとに分かれて、エリアごとの政策担当者から各エリアの現状や課題について説明を行い、意見交換を行った。九州エリアでは、各線区のご利用状況や線区別の収支、自然災害において現在も不通となっている肥薩線の課題や勉強会の数日前に復旧した日田彦山線のひこぼしラインについての説明等を行った。

今後も関係議員との連携を密にし、情報共有をしっかりと行える関係を築き、JR九州労組の政策実現のための基盤を整備していく。

当日ご出席いただいたメンバー(九州エリア)

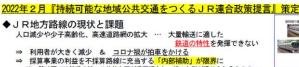
		, , , , (, D), (, , , ,
衆/参	議員名	出席者
衆	稲富 修二	伊藤 万里子秘書
衆	堤 かなめ	黛 典子秘書
衆	城井 崇	襲田 憲右秘書
衆	大串 博志	及川 昭広秘書
衆	西岡 秀子	清水 勝彦顧問
衆	吉良 州司	尾﨑 美加秘書
衆	渡辺 創	荻山 明美秘書
衆	野間 健	久本 芳孝秘書
参	野田 国義	大谷 正人秘書
参	古賀 之士	鈴木 加世子秘書



◆ 21 世紀の鉄道を考える議員フォーラム 所属議員一覧(JR 連合ホームページ)

J R連合

3. 持続可能な地域公共交通をつくるために



→ ↑リ加市のハミ、スポッ ペ ユリア個の出年をかける
→ 採算事業の利益を不採算路線に充当する「内部補助」が限界に
※ 諸外国では鉄道の持つ公共的な面が重要視され、様々な税が役じられるものの…日本では公的資金の投入は基本的になく、赤字でも事業者負担により維持されてきた
→ 多頻度化・大規模化する自然災害によって被災…長期間の運体や駅・路線の廃」

◆地域にふさわしい公共交通のあり方とは

▼セペスにへいてインしい「公子文人団ングのケグフェース (1) 地域公共交通を維持・活性化するために、関係主体(JR、地域、国)に求められること ⇒ JR:自ら積極的に歩み寄る姿勢を持つ(二一ズの把握、データの積極的な開示) 地域:住民や利用者の二一ズを客観的「把握し、交通政策に反映 「まちづくり」と「公共交通の再生」をセットに中長期的な展望から議論を推進 市面村本またがる広域での検討など。

国 : 地方の取り組みを後押しできるよう法整備や財源確保、権限移譲を推進

② 「鉄道特性の発揮の可否」を踏まえた、地域に望ましい公共交通の選択 ・存練させる場合 公的支援との組み合わせ、ポリシーミックスの実現

・ 存続させる場合 <u>公的支援</u>との組み合わせ、ポリシーミックスの実現、関係主体による議論 ・ 存続が困難な場合 利用者の目的・使い方の整理、他のモードやスキームの選択、持続可能な交通体系の再構築



秘書勉強会全体の様子



九州エリアに分かれて九州の課題を説明